

学校だより

R 6. 10. 28 発行

清水小学校

しみず

家庭数



あかるいあいさつ あいうえお

校長

保護者の皆様、地域の皆様、先日の運動会では多くの方々に御来校いただき、誠にありがとうございました。皆様の御声援を受け、子どもたちは力いっぱい競技やダンスに取り組むことができました。

各学年の子どもたちが頑張る様子や、閉会式で赤組・白組双方の団長が称え合う姿に、私たち教職員も清々しい気持ちになりました。子どもたちは、ふるさと・清水の大切な宝物です。これからも子どもたちの健全育成のため、御理解と御協力をお願い申し上げます。

さて、御存知のように運動会などの行事はもちろんのこと、朝会や集会など様々な機会に、「校長の話」があります。その際に私が心掛けているのは、「1年生から6年生まで多くの子どもたちの心に響くよう、簡潔で分かりやすい話をする」ということです。そのため、今年度は、「あ」「え」「い」「お」「う」の順で、キーワードを決めて話をしています。

最初に話したのは、「あ」の話。「あかるい あいさつ あいうえお」です。明るい挨拶は自分も相手も気持ちよくしてくれること、挨拶は人間関係をつくる基本（国語に例えるとあいうえお）であること、家族や地域の方に進んで挨拶をしようということをお話しました。

次に話したのは、「え」の話。「えがおと えがおで こんにちは」です。自分も笑顔、みんなも笑顔。笑顔いっぱいの学校になるようお願い、子どもたちに呼び掛けました。

1学期の終業式で話したのは、「い」の話。「いのちは だいじ いじめゼロ」です。夏休み中も何より大切な命を守ることを話しました。くしくも7月に校区で土砂災害が発生して非常変災が身近に感じられたせいか、子どもたちはいつも以上に真剣な面持ちで聞いてくれました。

とかく、世間では「校長の話は長くてつまらない」と思われがちです。楽しく分かりやすくするためになる話をするようこれからも心掛けたいと思います。

(残りの「お」と「う」の話はまたの機会にお伝えしたいと思います。)



清水つ子俳句広場

運動会も終わり、朝夕は肌寒く感じる日が多くなってきました。校庭の落ち葉やどんぐりからも秋の深まりを感じます。みなさんからは、秋の味覚や風景をうたった俳句がたくさん集まりました。

今回は、二年生、五年生の作品から、教頭先生に選んでいただきました。

【清水つ子俳句大賞】

二年

ケーキやにやさしいに秋の風

(評) 二年生は、町探検にいろいろな場所へ行きましたね。教頭先生も一緒についていったお店もありました。

みんな熱心にお店の方の話を聞いたり、質問したりしていた姿を思い出しました。絆音さんは、ケーキ屋さんに行ったんですね。この句のすてきなところは、中七の「やさしいにいい」。「あまいにいい」でも「おいしいにいい」でもなく、「やさしいにいい」。話をしてくださったお店の方のやさしさがこの表現になったのでしょうか。このケーキ屋さんに行ってみたいですね。

五年

秋空や夕方のグラデーション

(評)

この俳句、みなさんおなじみの五・七・五ではありません。五・五・七？？と感じた人もいたのではないのでしょうか。これは、強い感動や心の動きを伝えるための「破調（はちょう）」という俳句の表現です。

日中はまだ、暑い日もありますが、朝夕はすっかり、秋になりましたね。この句から、秋のすばらしい夕焼け空がぱっと目の前に広がりました。

【佳作】

二年

とく大のまつぼっくりのおくりもの
赤とんぼスラスラとんどどこまでも
まんまるのぶどうとケーキ町たんけん
うんどう会まわせまわせフラフープ
いわしぐもオレンジ色の帰り道

五年

母の声聞こえぬふりする秋の朝
くりの皮かたくてむけない昼さがり
秋風で茶色の木の葉がひらひらと
朝起きて少し肌寒い秋の日や
紅葉やひらひら落ちる黄金色

運動会特集！



光るバトン みんなでつなげ 勝利とともに 清水っ子

体育主任

今年度はこれまでに無く厳しい残暑が続き、練習の時数や内容も児童の安全を第一に考え、無事に運動会本番を迎えることができました。

シーソーゲームのような展開が続き最後まで接戦となりましたが、両チーム共に最後まであきらめずに勝利を目指す姿がとても印象的でした。また、各学年の演技中の子どもたちの表情もとてもすてきでした。低学年の元気いっぱいのダンスや中学年のリズム感あふれる演技と表情は、見ているみんなを笑顔にさせてくれました。高学年のソーラン節は、清水の伝統をつなぐすばらしい演技でした。また、高学年の子どもたちは、運動会を自分たちが作っていこうという思いで、応援合戦や開閉会式に取り組み、仲間との絆も深まりました。赤組「炎熱の狼」、白組「月光の白狼」。どちらのチームも工夫を凝らした応援を作り上げ、仲間にエールを送り続けました。締めくくりとなる閉会式では、二人の応援団長が相手を思いやり、仲間を称える姿に思わず胸が熱くなりました。スローガンにもあるように子どもたちみんなが思いをつないだすばらしい運動会でした。少ない練習期間でしたが、全力で取り組んだ子どもたちに心から拍手を送ります。

最後になりますが、御多用の中、保護者の皆様からは温かい御理解と御協力をいただき、学校行事の一大イベントである運動会を開催できたことに深く感謝申し上げます。また、今年もテントの片付けを快く手伝ってくださった方々へも、この場を借りてお礼申し上げます。大変ありがとうございました。

はじめてのうんどうかい

1年

ぼくは、かけっこで一いになりたくて、たくさんれんしゅうしました。ほんばんは、すこしきんちょうしたけど、スタートダッシュもきまり、おおきくてをふって、ゴールまでぜんりょくではしりました。一いになれて、とてもうれしかったです。

がんばったうんどう会

2年

じゅんぴをしてくれた先生たち、5、6年生、いっしょにたくさんれんしゅうしてがんばったクラスみんなのおかげで、さいこうに楽しいうんどう会になりました。

しょうがいそうでは、あみにひっかかりフラフープのところとまどったりしたけれど、ダンスは思い切り楽しみました。まけてくやしかったので、らい年はぜったいにかちたいです。

がんばった運動会

3年

わたしは、きんちょうしたことが二つあります。一つ目はダンスです。ふりつけを自分たちで考えたり、声を出したりみんなで力を合わせたダンスができました。二つ目はリレーです。わたしはアンカーで、チームで最初は2位だったけれど最後には1位をとれてうれしかったです。赤組でも1～6年生力を合わせて優勝できてとてもうれしかったです。運動会大成功！



負けてくやしかった運動会

4年

私が運動会で一番心に残ったことは、学年リレーです。練習のときはいつも1位だったけど、本番では2位になってしまったのでくやしかったです。練習のときよりも、どのチームも「1位になりたい!」という気持ちが強かったのだと思います。私たちのチームは、少しゆだんしてしまったのかもしれませんが。それでも、6人全員が最後まで一生けん命に走りきれたと思います。

5年生になると、係の仕事もあるし、高学年として下学年のお手本にもならないといけないので、来年もがんばります。



がんばった運動会

5年

私は、個人走とソーラン節に出ました。個人走は、少しスタートダッシュが遅れてしまいましたが、一生懸命走って三位になれました。次は、一番になれるように頑張りたいです。ソーラン節は、全力を出しきって頑張りました。ソーラン節の練習はとても大変だったけれど、6年生が私に優しく教えてくれたのでここまでできるようになりました。私も来年ソーラン節を踊るときは、下級生に優しく教えてあげたいと思います。



一生の思い出

6年

今年は、運動会に向けての準備からがんばりました。その中でも一番がんばったのは、パネル作りです。昼休みにみんなと話しながら色ぬりをして作り上げるのは、とても楽しかったです。力強く、かっこいいウルフをかけてよかったです。

ソーラン節は、とにかく最高でした。練習よりも声が出て、動きもとてもよかったですと思います。練習してきたすべてをぶつけることができました。

結果は赤組の勝ちでしたが、勝敗よりも大切なものを手に入れることができました。それは、思い出です。みんなで作ったパネルや応援歌、一生けん命おどったソーラン節。全部が一生消えない最高の思い出になりました。

運動会がんばった!

6年

僕ががんばったのは応援とリレーです。応援の内容を考えるのも大変だったけれど他の学年に内容を伝えたり一緒に練習したりするのは想像以上に大変でした。

応援団として自分たちががんばるだけでなく、白組のみんなでそろって応援することに意味があると思ってがんばりました。本番、声がそろわない時もあったけれど練習の2倍くらい大きな声が出せていたと思います。団長や、副団長のやる気が伝わったのだと思います。

リレーでは全員そろっての練習がなかなかできない中で、チームのみんなで力を合わせ走り切り、小学校最後の運動会にふさわしい走りができたと思います。

